

3項目 1台で測定

サカエ、糖尿病・炎症など検査

サカエ（東京都港区、松本弘一社長）は、1台で「ヘモグロビンA1c」「CRP」「ACR（尿アルブミン/クレアチニン比）」の3項目を測定できるパック式臨床化

学分析装置「アイギアプロ」を開発した。糖尿病検査のほか、炎症や細胞・組織破壊などの検査、糖尿病性腎症の早期発見などに対応できる。市場想定価格は本体48万円（消費税抜き）。5月下旬から販売を開始し、初年度1000台の出荷を見込む。

糖尿病検査用グリコヘモグロビン分析装置に、CRPとACRの測定機能を加えた。CRPは炎症マーカーと

して広く測定されている項目で、同装置は血液1テリリ当たり0・1ミリの濃度を測定できる。

検体を採取した専用試薬カートリッジを挿入すると、自動で測定する。測定時間は約5分間。幅130ミリ×奥行200ミリ×高さ250ミリ、重量3・5キログラムと、小型・軽量化した。糖尿病専門医院をはじめ、内科・小児科医院などでの導入を見込む。



小型・軽量のパック式臨床化学分析装置「アイギアプロ」（サカエ提供）